

国 土 交 通 省 滋 賀 国 道 事 務 所
資 料 配 付

配付日時	平成17年 2月 2日 17:00
------	--------------------------

件 名	「第4回坂田地域活性化検討委員会（略称：S K T）」の開催 ～滋賀県坂田地域における望ましい将来像を実現するために～ 【本日の会議結果の報告について】
-----	--

概 要	「第4回坂田地域活性化検討委員会（略称：S K T）」を、本日開催しました。
-----	--

取 扱 い	<hr/>
-------	-------

資料配布先	滋賀県政記者クラブ 長浜市政クラブ
-------	----------------------

問い合わせ先	国土交通省 滋賀国道事務所（077-523-1741代表） 副 所 長 <small>なかい</small> 中居 <small>すてきち</small> 捨吉（内線204） 調 査 課 長 <small>いづつ</small> 井筒 <small>よしゆき</small> 由幸（内線451）
--------	---

第4回坂田地域活性化検討委員会（略称：SKT）報告

1. 日 時 平成17年 2月 2日（水） 10:00～12:00

2. 場 所 滋賀県立文化産業交流会館（米原町内）

3. 出席者

委 員 塚口博司委員長
柴田いづみ委員、 三山元暎 委員、 村西俊雄 委員、
山口 徹 委員、 多賀榮之 委員、 板谷 勉 委員、
山下和幸 委員、 山邊吉藏 委員
事務局 滋賀国道事務所、滋賀県道路課、湖北地域振興局長浜建設管理部

4. 議 事

1) 開会

・塚口委員長挨拶

2) 意見交換内容

- ・ 前回（第3回）委員会での意見をうけて、地域の活性化方策を踏まえた道路整備のあり方について事務局から資料の提案を行い、それに対する意見の交換が行われました。
- ・ その結果、本委員会でこれまで検討してきた内容をまとめた「坂田地域活性化検討委員会報告」（別紙）の確認をおこない、今後の坂田地域における道路網整備についての方向性を決めました。具体の整備計画については、本委員会にて整理された現状の課題や、地域の目指すべき姿を基に、今後、関係行政機関において継続して検討を進めることとしました。

また、計画の検討段階においては、改めて有識者および地域住民の意見を聞く機会を設け、地域のニーズを把握し、より良い社会的合意のもと事業を進めていくことも確認されました。

以 上

【添付資料】

坂田地域活性化検討委員会報告
住民アンケート結果

坂田地域活性化検討委員会報告

平成17年2月

坂田地域活性化検討委員会

1. はじめに

滋賀県坂田地域は近畿地方、中部地方および北陸地方を結ぶ中山道などの宿場町として古くから栄え、近年においても名神高速道路や北陸自動車道、国道8号、国道21号、国道365号といった幹線道路が通過する交通の要衝となっています。

しかしながら、近年の地域開発や社会経済情勢の変化などに伴う交通量の増大、車両の大型化等によって、主要な交差点では交通渋滞が発生しており、また、冬期においても、積雪で名神高速道路が通行止めになった際には、周辺道路において著しい交通渋滞が発生するなど、産業経済活動だけでなく、生活環境にも深刻な影響を与えています。

こうした中、広域的な視野に立って、関係行政機関で組織する坂田地域活性化検討委員会を設立し、坂田地域における望ましい将来像を実現するために、地域の活性化方策を踏まえた幹線道路網のあり方等について昨年度より2箇年にわたって検討を行ってきました。

本日ここに検討委員会に関する最終報告を以て、本委員会を終了します。

2. 検討経緯

年 月 日	検 討 経 緯
平成 15 年 8 月 8 日	第 1 回検討委員会 現在の地域社会および交通特性の把握
平成 15 年 10 月 7 日	第 1 回作業部会
平成 15 年 10 月	観光客・立地企業ヒアリング実施
平成 15 年 11 月	住民アンケート実施（現況道路網の問題点）
平成 15 年 12 月 24 日	第 2 回作業部会
平成 16 年 2 月 5 日	第 3 回作業部会
平成 16 年 2 月 10 日	第 2 回検討委員会 現在の地域道路網の課題整理と道路整備の方向性を検討
平成 16 年 9 月 30 日	第 4 回作業部会
平成 16 年 10 月	住民アンケート実施（道路整備の方向性）
平成 16 年 12 月 2 日	第 5 回作業部会
平成 17 年 1 月 12 日	第 3 回検討委員会 将来のまちづくりを含めた道路整備のあり方について検討
平成 17 年 2 月 2 日	第 4 回検討委員会 委員会最終報告についての検討および確認

3. 主な検討事項

本検討委員会における主な検討事項は、以下の点でありました。

現状の道路網の課題と整備の方向性

地域の活性化方策

地域の活性化方策を踏まえた道路整備のあり方

4. 委員会報告

委員会では、坂田地域における現況の道路網の課題について、各種統計データや地域住民の皆様からの御意見等から把握すると共に、新市合併後の将来計画を踏まえた坂田地域の活性化に寄与する、国道 21 号をはじめとする幹線道路網のあり方について検討を重ねて参りました。

その結果、委員会においては、混雑緩和、冬期の道路交通の信頼性向上、交通安全性の向上、自然および生活者の観点からの沿道環境の改善を道路整備課題として、特に国道 21 号・国道 365 号を基軸とする東西方向軸の強化が必要であると整理を行いました。

また、将来の地域整備計画に寄与する道路網整備のあり方と致しましては、新市の主要施策である「幹線道路トライアングルのまちづくり」の促進を図る観点から、現在事業計画中の国道 8 号バイパス整備を進めるとともに、国道 21 号・国道 365 号等の地域内の幹線道路網についても道路機能強化のための整備が必要である事を結論付けました。

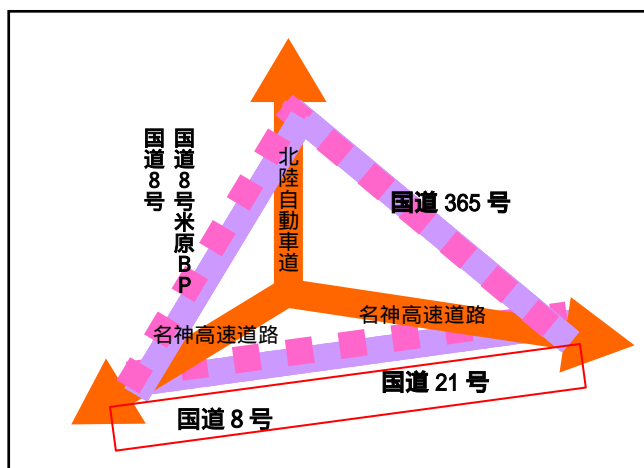


図 幹線道路トライアングル

これらの幹線道路ネットワークの充実により、米原駅周辺整備事業や滋賀統合物流センター構想等の地域プロジェクトへの支援が可能となり、さらには新市の目指すべき将来地域構造に基づく中核ゾーン、観光交流ゾーン、ターミナルゾーン等の形成につながることを期待されます。また、道路の整備にあたっては、循環型社会の構築という観点から、沿道環境の改善や自然環境・生活環境の保全についても取り組んでいく必要があると確認しました。

今後は、具体的な道路網整備計画について、関係行政機関等で継続的に検討を行い、地域のニーズを反映した計画を立案していくこととしました。本委員会において検討した成果が、将来の坂田地域の発展に寄与し、より良い「まちづくり」・「みちづくり」に貢献できることを期待したいと思います。

参考といたしまして、国道 21 号、国道 365 号の道路整備の方向についての住民アンケート結果では、国道 21 号についてはバイパス整備を、国道 365 号については現道整備を大半の方が希望しておられたことを附しておきます。

坂田地域活性化検討委員会（略称 S.K.T）

（住 民 ア ン ケ ー ト 結 果）

平成 17 年 2 月

坂 田 地 域 活 性 化 検 討 委 員 会

1. はじめに

『坂田地域活性化検討委員会』においては、坂田地域の将来像実現に向けての幹線道路網のあり方について検討を重ねてきました。

検討にあたり、坂田地域にお住いの住民の方々から貴重な御意見を多数いただきました。ここに住民アンケート結果について簡単ではありますがご報告させていただきます。

また、これらアンケート結果は、今後の道路整備計画の貴重な参考意見として活用させていただきます。

今後とも道路事業に対するご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2. アンケート概要

住民の方々に対するアンケート調査は、昨年度と今年度において各1回、計2回実施いたしました。

実施時期および実施目的は下記のとおりでした。

実施時期	実施目的
平成15年10月	現状の道路整備について
平成16年11月	道路整備の方向について



配布先：4町全自治会(101自治会)で各自治会5名とし、計505名を対象としました。

配布対象者選定は日頃車を利用する人、幅広い年齢層を対象とし、各自治会でお願いしました。

各回における回収結果は以下のとおりでした。

実施時期	回収率(4町合計)
平成15年10月	90.5%
平成16年11月	90.7%

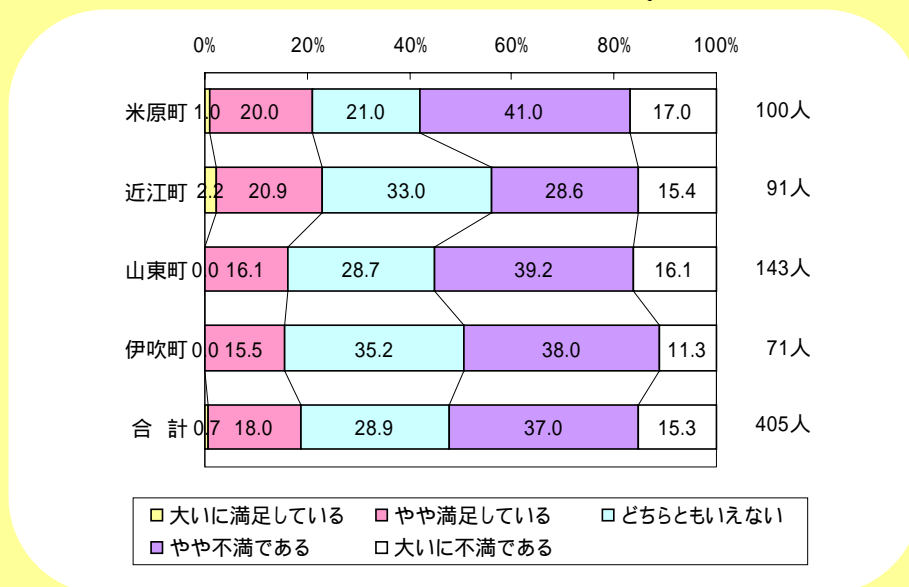
なお、現状の道路整備についてはアンケートと合わせて、坂田地域にあって物流に関係する主な事業所および所要観光地において観光客からも御意見をいただきました。

次ページ以降において、アンケート結果の抜粋を添付します。

3. 現状の道路整備について

1) 道路整備における満足度は

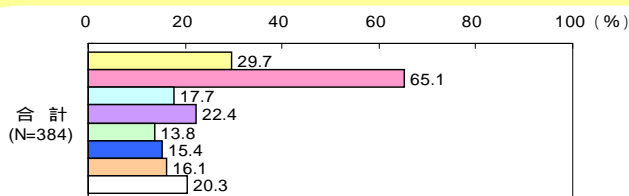
現状の道路整備状況に対し、全体で約53%の方が不満をもたれています。
(やや不満、大いに不満)



2) 道路交通状況の不満な点は

道路交通状況に対しての不満な点としては、全体の約65%の方が「道路の車道幅員の狭さ」を挙げています。

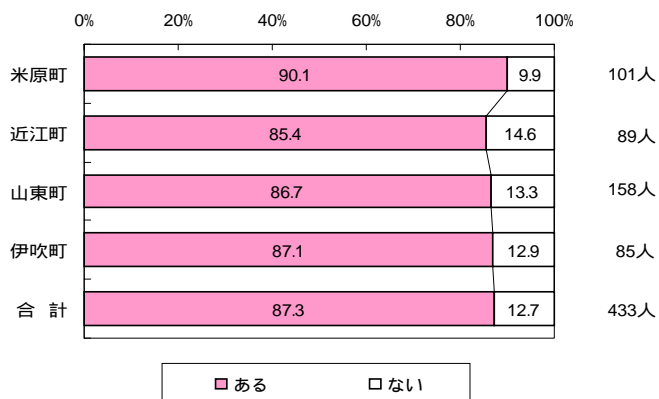
また、全体の約87%の方が冬期積雪時の道路交通状況が日常生活に支障をきたしていると答われています。



現状の道路交通に不足している点



冬期積雪による日常生活への支障



3) 冬期の交通事故・渋滞発生箇所

住民の方々に、冬期に交通事故や渋滞発生が多いと感じる箇所を記入して頂いた結果、国道21号、国道365号、県道大鹿寺倉線および広域農道(町道藤川相撲庭線)へ多くの記入がありました。

図 冬期の交通事故・渋滞発生が多いと感じる箇所

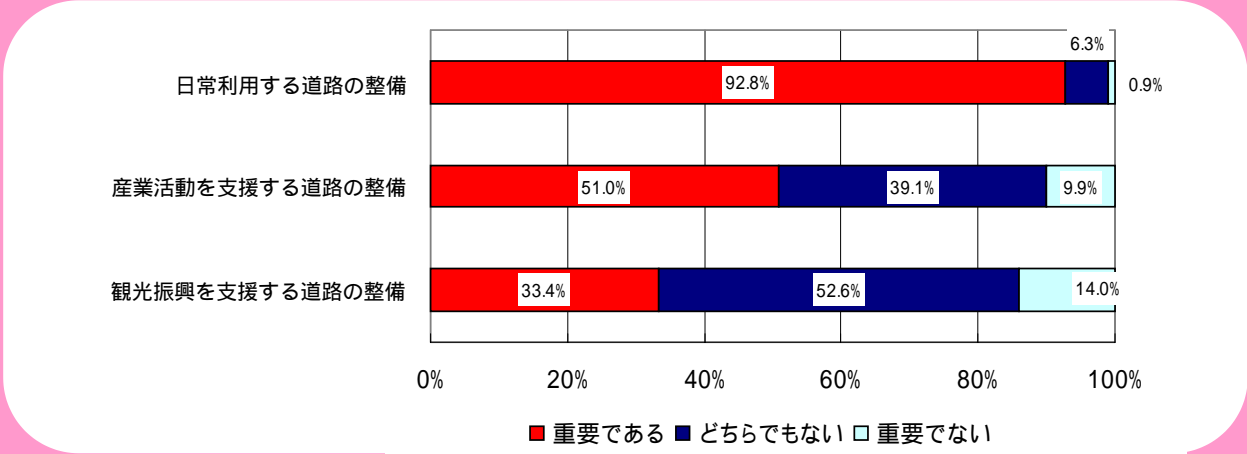


次に、今後の道路整備のあり方についてお聞きしました。

4. 道路整備の方向について

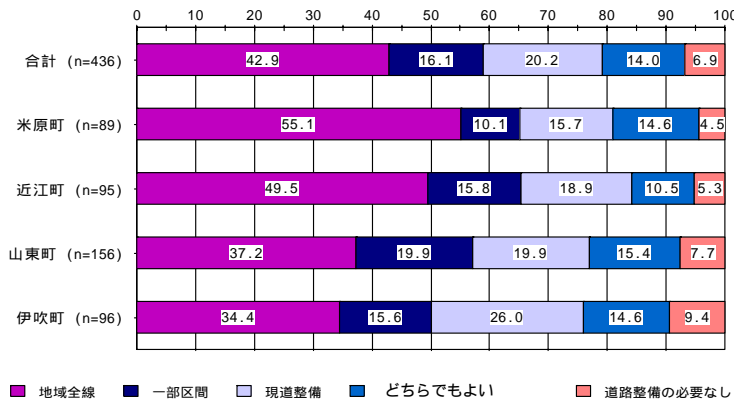
1) 道路整備の基本的方向

道路整備の基本的方向として約90%以上の方が日常利用する道路の整備を重要視されています。



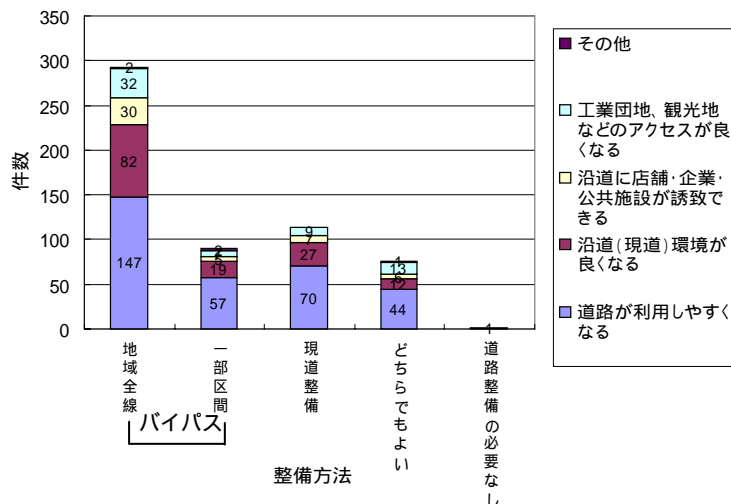
2) 国道21号整備について

「道路が利用しやすくなる」・「現道の沿道環境が良くなる」こと等を期待して、バイパスによる国道21号整備を全体の約60%の方々が希望されています。



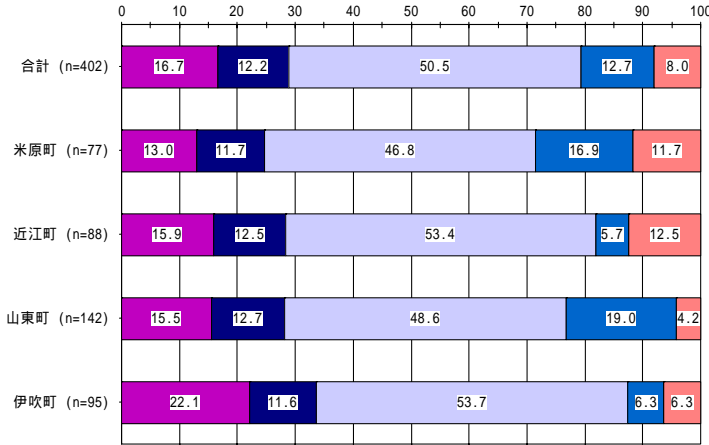
国道21号の整備方法

国道21号整備に期待すること



3) 国道365号整備について

「道路が利用しやすくなる」「現道の沿道環境が良くなる」こと等を期待して、**現道整備による国道365号整備を全体の約50%の方が希望されています。**



国道365号の整備方法

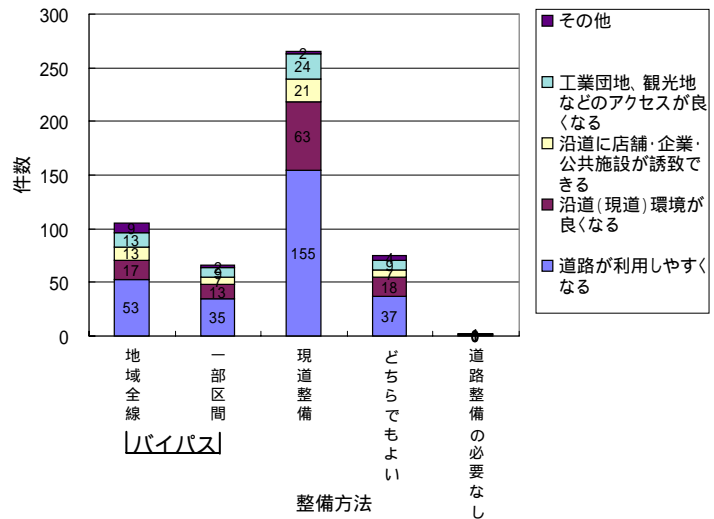


■ 地域全線 ■ 一部区間 ■ 現道整備 ■ 現道整備のどちらでもよい ■ 道路整備の必要なし

「バイパス」

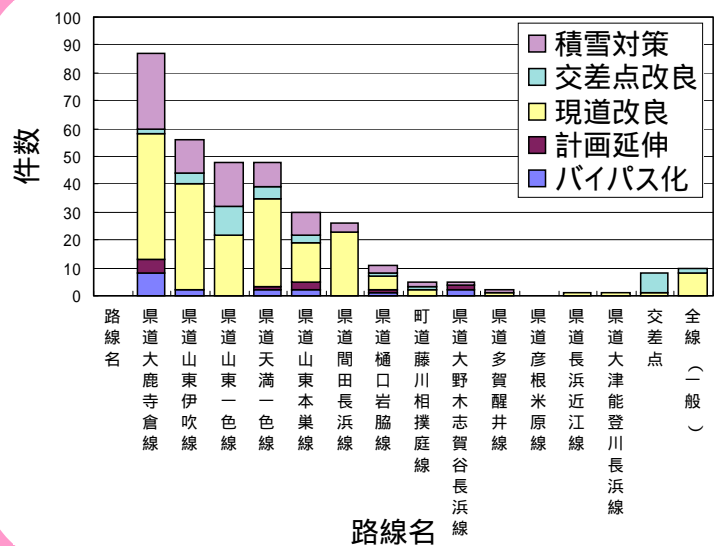
国道365号整備方法

国道365号整備に期待すること



4) その他整備が必要な道路は

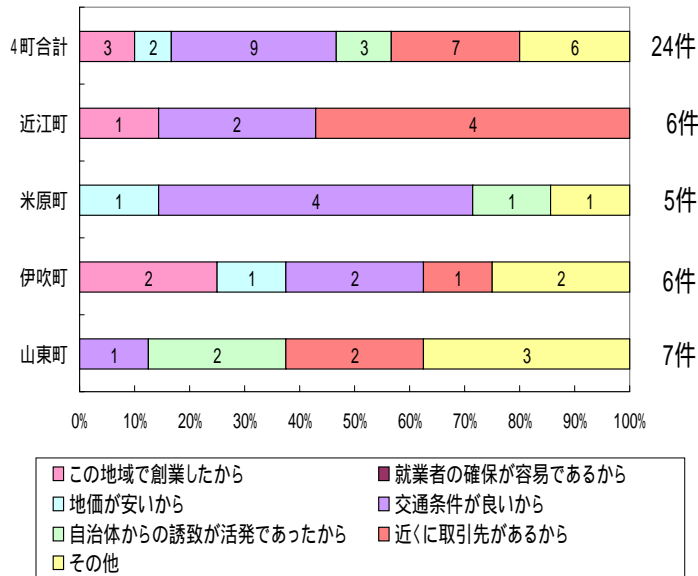
国道21号、国道365号以外で整備が必要な道路としては、「車道幅員の拡幅等の現道改良」と「積雪対策」を理由に、多い順に県道大鹿寺倉線、県道山東伊吹線、県道山東一色線、県道天満一色線、県道山東本巣線、県道間田長浜線、県道樋口岩脇線、町道藤川相撲庭線、県道大野木志賀谷長浜線、県道多賀醒井線、県道彦根米原線、県道長浜近江線、県道大津能登川長浜線、交差点、全線(一般)



5. 事業所からの意見

1) 事業所をこの地に置かれている理由

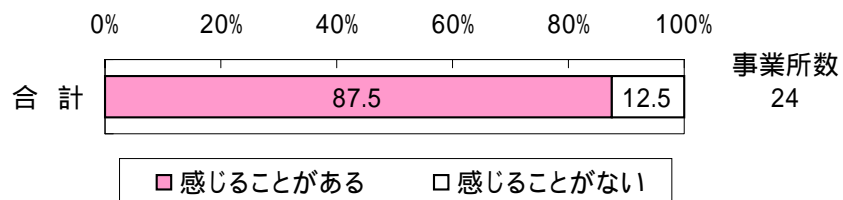
全体の約40%の事業所が、この地域の良好な交通条件を挙げられています。



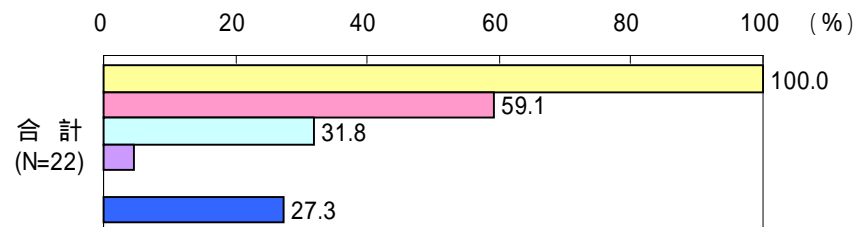
2) 積雪による企業活動への影響

全体の約90%の事業所が、積雪による影響を感じておられます。

積雪による企業活動への影響



具体的な影響

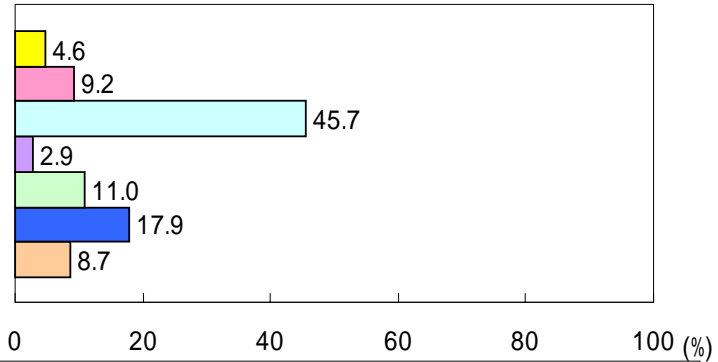


- 自動車での所要時間が通常期よりも大幅に伸び、通勤や物流活動に支障が出る
- 除雪の優先度の高い道路に自動車が集積し、混雑(渋滞)が激しくなる
- スリップ事故の危険性が高くなるなど、安全性に大きな問題が出る
- 鉄道や路線バスの定時性が格段に悪化する
- 子供や高齢者など自動車を運転できない年齢層の「足の確保」ができない
- 雪に不慣れなドライバーの運転マナーの悪さ(チェーンの非装着など)が顕在化する

6 . 観光客からの意見

1) 今後の道路整備において特に重視してほしいこと

全体の約45%の方が、**一般道路の走りやすさの改善**を挙げられています。



- 高速道路のインターチェンジの増加
- 一般道路の新規整備(バイパス整備など)
- 一般道路の走りやすさの改善
- 道路情報提供システムの充実化
- 休憩施設(道の駅)などの新規整備
- 冬季安全対策の強化
- その他

2) 坂田地域の魅力(観光者)

全体の約90%の方が、**地域の豊かな自然**を挙げられています。

